


南三陸消防署からのお知らせ

ヒートショックをご存じですか？

～家庭内で高齢者が死亡する原因の4分の1を占める「ヒートショック」～
ヒートショックとは、家の中の急激な温度差がもたらす身体への悪影響のことです。急激な温度変化により、血圧が大きく変動することで、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こすことがあります。
平成26年中における全国での入浴中の死者数は約14,400人にのぼり、そのうち、約3,600人の方々がヒートショックが原因で亡くなっています。

問い合わせ 南三陸消防署 ☎46-2677
南三陸消防署歌津出張所 ☎36-2222

注意 浴室での効果的なヒートショック対策は、



- ・65歳以上である
- ・一番風呂に入ることが多い
- ・高血圧、糖尿病、動脈硬化の病気をもっている
- ・呼吸器に問題がある
- ・お風呂の温度は42度以上
- ・肥満である

- ・入浴前にシャワーで浴室を暖める
- ・半身浴で体への負担を軽減
- ・湯の温度は41度以下のぬるめに設定
- ・家族に一声かけて入浴
- ・早朝の入浴は避ける


南三陸警察署からのお知らせ

地域課から 犯罪被害に遭わないために！

南三陸警察署では、今年も安心して安全な南三陸町を目指し、パトロールや巡回連絡等に積極的に取り組んでいきます。下記の点に注意していただくだけでも、犯罪被害に遭う危険性を低くすることができます。

- ・短時間の外出であっても必ず戸締まりをしましょう。
- ・数日間家を留守にする際には、隣近所の方に留守にする旨を伝えておき、何か異変があれば、警察に通報してもらうようお願いしておきましょう。
- ・外出先で車を駐車する際には、車内の見える場所に貴重品等を置いたままにせず、必ず鍵をかけるようにしましょう。
- ・不審な電話等があれば、一人で判断することなく、ご家族や警察に相談しましょう。
- ・放火対策として、家庭ごみを玄関先や軒下に置いておくのはやめましょう。

思わぬところで被害に遭わないために、充分注意していただくとともに、緊急の場合には迷わず110番通報をするようにしてください。



問い合わせ 南三陸警察署 ☎46-3131

交通課から ◇平成27年度 南三陸町の交通事故発生状況 (12月末日現在)

区分	人身事故発生件数	死亡事故		負傷者数			物件事故件数
		件数	人数	重傷	軽傷	計	
本年	18	0	0	1	25	26	248
前年	26	2	2	3	24	27	253
増減数	-8	-2	-2	-2	1	-1	-5
増減率	-30.8	-100.0	-100.0	-66.7	4.2	-3.7	-2.0

・平成27年中、南三陸町内では交通死亡事故の発生はゼロでした。
・人身交通事故の発生件数も、統計を取り始めた昭和42年以降最低件数となる18件にとどめることができました。町民の皆様への交通安全に対する意識の高さが良い結果を生んでおります。
今年も交通死亡事故ゼロ、ひいては交通事故ゼロ、の安心安全な南三陸町を目指していきましょう。

◇凍結路面での滑走事故防止について

今年の冬は積雪の少ない暖冬傾向にあるものの、気温が低くなると路面が凍結し滑走事故が多発します。決して油断せず、運転には細心の注意を払い事故防止に努めましょう。

**1割のスピードダウン
2倍の車間距離
3分早目の出発**

町職員 人事異動

町職員の人事異動についてお知らせします。
※()内は前所属

【町長部局】

○12月31日付派遣期間満了
兵庫県西宮市 山崎勝博 (復興事業推進課 上席技術主幹)
○1月1日付派遣
復興事業推進課 山崎克也 (兵庫県西宮市)
○1月1日付新規採用
建設課 上席技術主幹 高橋智明 = 町任期付職員

【病院事業】

○12月31日付派遣期間満了
= 東北大学メディカル・メガバンク機構から
木村智哉 (南三陸病院診療部内科医長)
八田俊介 (南三陸病院診療部内科医長)
○1月1日付派遣
= 東北大学メディカル・メガバンク機構から
南三陸病院診療部内科医長 児玉慎二郎
南三陸病院診療部内科医長 黒羽正剛
○1月1日付新規採用
南三陸病院看護部看護師 熊谷幸喜

生ごみの分別にチャレンジしましょう！

昨年10月19日に生ごみの分別収集が始まってから、3ヶ月が経過しました。10月から12月分までの生ごみの収集量は次のとおりでした。

10月	11月	12月	合計
9.3 t	23.8 t	23.8 t	56.9 t

生ごみがたくさん集まっているかという、まだまだ予想した量より少ないというのが正直なところではあります。




そこで…分別がわかりにくくて、生ごみを分別して出したことがない皆様へ、

私たちが食べているもので、消化できるものなら生ごみに出してOK

とまずは覚えて、生ごみの分別にチャレンジしましょう！

生ごみの処理施設では、私たちが食事をしたときのお腹の消化作用と同じような方法で生ごみを消化(発酵)させてリサイクルしています。よって、私たちが普段食べているもので、お腹で消化できるものであれば、生ごみとして出しても大丈夫です。

例えば、次のものは生ごみとして出せるでしょうか？

卵の殻 あさりの貝殻		殻は食べないし、お腹で消化できませんよね。	燃やせるごみとして出してください。
たばこの吸殻		たばこは吸っても、食べないですね。それに食べ物ではないですね。	
歯磨き粉		歯磨きのときに口にしますが、そもそも食べ物ではないですね。	

生ごみの分別はそんなに難しくないと考えていただけただけでしょうか？ぜひ分別にご協力をお願いします。慣れてきたら、各戸に配布したパンフレット「南三陸町の生ごみの出し方」で分別の詳細を確認してみてください。

なお、まとまった参加人数(概ね10人以上)が見込める場合には、ごみの出し方に関する出前講座に環境対策課職員を派遣しますので、担当までご相談ください。

問い合わせ 環境対策課廃棄物対策係 ☎46-5528

迷い犬について

飼い犬がいなくなった時や迷い犬を発見したときには、気仙沼保健所または環境対策課まで連絡してください。その際には、犬の毛色などの特徴や時間、場所などを伝えてください。飼主の方は首輪に鑑札をつけましょう。迷い犬が保護された場合に、鑑札があると飼い主の確認ができます。

問い合わせ 気仙沼保健所食品薬事班 ☎22-6615 環境対策課環境政策係 ☎46-5528